

第2回横浜市磯子スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和8年8月3日（月）13時～16時30分
開 催 場 所	磯子区役所 6階601会議室
出 席 者	石川委員（磯子区保健活動推進委員会 会長） 伊藤委員（横浜国立大学教育学部 教授） 小宮山委員（メール・ド磯子自治会 前会長） 榊委員（東京地方税理士会横浜南支部 税理士） 高浦委員（磯子区スポーツ推進委員連絡協議会 会長）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者3名）
議 題	1 面接審査 2 審査・選定
決 定 事 項	1 第2回委員会の一部非公開の確認について 第1回委員会で決定したとおり、議題1の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）は公開とし、議題2の審査・選定は非公開とする。 2 指定候補者及び次点候補者について 応募書類審査及び面接審査の結果、指定候補者及び次点候補者として次のとおり磯子区長に報告する。 指定候補者 公益財団法人横浜市スポーツ協会 次点候補者 はばたく磯子スポーツ共創パートナーズ
議 事	事務局から、応募団体は2団体であること、また、応募者資格に係る欠格事項の確認が選定委員会開催時点では未了であることについて報告があった。なお、当該確認は事務局が責任を持って実施することとした。併せて、応募団体に関する補足説明が行われた。 面接審査については、団体名をブラインド化し、「団体A」「団体B」として実施することを確認した。 1 面接審査 応募団体のプレゼンテーション10分間、質疑応答20分間で実施。 【団体A】 (1) 団体Aによるプレゼンテーション 事業計画等について説明があった。 (2) 質疑応答 (委 員) 機械の新規導入が提案されているが、導入方法はリースか購入か。 (団体A) リースでの導入を検討している。 (委 員) 健康麻雀については、どの部屋での実施を考えているか。 (団体A) 2階の研修室で、一般利用に配慮しながら実施する予定である。

	(委 員) 磯子スポーツセンターには優先利用枠があるが、提案されている利用者増は、それ以外の利用枠の活用により見込んでいるという理解でよいか。 (団体A) 一般利用枠を確保した上で、空いている時間帯を活用した事業を提案している。イベントや教室の実施方法を工夫するとともに、教室の参加者数を増やすことで利用者増を図りたい。現地調査も行っている。 (委 員) 地域との連携について、どのような取組を考えているか。 (団体A) 現指定管理者が築いてきた地域との関係も継続しながら、キッズルームの活用や、「磯子区地域子育て支援拠点いそピヨ」と連携した親子イベントの実施を進めたい。また、新杉田公園をはじめ地域のスポーツ環境も含めて、スポーツ推進に取り組みたい。 (委 員) 新杉田公園（グラウンド）とスポーツセンターの指定管理者は異なるが、どのように連携していく考えか。 (団体A) 現在の指定管理者においても、新杉田公園（グラウンド）と連携して実施している事業があることは認識している。そうした取組を継続するとともに、さらに発展させていきたいと考えている。 (委 員) スポーツセンターの駐車場台数が少ないことや、新杉田公園（グラウンド）駐車場の利用条件について、どのように考えているか。 (団体A) 駐車場の実態を把握しながら柔軟に対応したい。イベントスケジュールの共有など、ソフト面での対応により課題解決を図りたい。 (委 員) スポーツセンターから距離のある地域では、スポーツセンターの利用につながっている印象は少ないが、出張指導は地域で重宝されている。地域との交流についてどのように考えているか。 (団体A) 出張指導を継続するとともに、その後のスポーツセンター利用につなげるなど、より踏み込んだ取組を通じて地域とのつながりを深めていきたい。 (委 員) 直営のスポーツクラブとスポーツセンターとのすみ分けはどのように考えているか。 (団体A) 直営クラブは主に運動習慣のある方を対象としている。スポーツセンターは、運動習慣づけのきっかけとなる施設としての役割を担いたい。 (委 員) 現在の管理体制について、課題や評価している点はあるか。 (団体A) 施設見学や利用を通じて、施設のにぎわいや運営の良さを感じた。現指定管理者による良い取組は引き継ぎ、継続していきたい。 また、磯子区は高齢化率が高いことから、高齢者向け教室や運動に苦手意識のある方への支援など、これまでの実績を生かした取組を進め、健康づくりに貢献していきたい。 (委 員) 新杉田は交通の便があまり良くなく、駐車場の不足が利用者増の妨げになることも考えられるが、どのように考えているか。
--	---

	(団体A) 駐車場の課題については施設の状況を見ながら対応するとともに、地域の方々と相談しながら解決策を検討していきたい。 (委員) 今後5年間で、利用者一人当たりの指定管理料をどの程度抑えられると考えているのか。 (団体A) 自社が管理する他施設では、教室の稼働率向上により収入を増やし、指定管理料を抑制した実績がある。磯子スポーツセンターにおいても同様の手法を活用し、効率的な運営を図りたい。 (委員) リピーターが多いと思うが、新規の個人利用者を増やすためにどのような取組を考えているか。 (団体A) 地域に根差したメディアと協力し、イベントや教室の案内、事業実績等の情報発信を行うことで、新規利用者の獲得につなげたい。 (委員) 提案内容では、他のスポーツセンターで利用者数を増やした実績があるとしているが、その施設にはプールが併設されていたのか。併設されていない場合、利用者増の主な要因は何か。 (団体A) 利用者増の主な要因は教室事業によるものである。 (委員) 提案されている事業の工夫は評価できる。 (団体A) 提案内容の実現に向けて取り組んでいきたい。 【団体B】 (1) 団体Bによるプレゼンテーション 事業計画等について説明があった。 (2) 質疑応答 (委員) 利用者数の増加は、優先利用枠以外の個人・団体利用の拡大によるものを想定しているのか。 (団体B) そのように想定している。あわせて、教室事業の拡充による利用者増も見込んでいる。 (委員) 提案しているeスポーツや健康麻雀は、どこで実施する想定か。 (団体B) eスポーツはイベントとして試行しながら検討し、フリースペースでの実施を予定している。健康麻雀は2階の研修室で実施する予定である。 (委員) eスポーツについては高齢男性の関心が高いと聞くが、関係団体等との連携は考えているか。 (団体B) eスポーツを推進している団体との連携を考えている。提案している事業も企業と連携したプログラムである。 (委員) 今回提案しているコンセプトは、これまでから取り組んできたものか、それとも今回新たに提案するものか。 (団体B) 今回初めて提案するものである。インクルーシブなスポーツの展開を目指し、より敷居が低く、誰もが気軽に立ち寄れる施設としていきたいと考えている。 (委員) 馴染みの薄いスポーツも多いと思うが、これまで経験のない人が気
--	--

	軽に体験できるような取組があるとよいと考えるが、どうか。 (団体B) 文化的なイベントも活用しながら幅広い方に来館してもらい、スポーツに親しむきっかけづくりを行いたい。 (委員) 開館から 40 年が経過しているが、ロッカーなどの設備を更新する場合、その費用は指定管理者の負担となるのか。 (団体B) ロッカーの更新は提案に含めており、収益の状況を踏まえ、4～5 年目を目途に指定管理者負担で実施する計画である。備品の更新は区と協議しながら進める。 (委員) スポーツに馴染みのない人にも関心を持ってもらい、まずは施設に足を運んでもらうことを重視した提案と理解してよいか。 (団体B) そのとおりである。イベントの実施などを通じて施設に足を運んでもらうきっかけをつくるとともに、地域での指導も積極的に実施していきたい。 (委員) 利用者の拡大に当たっては、駐車場不足や交通アクセスが課題と考えるが、新杉田公園との連携を含め、どのように対応していく考えか。 (団体B) 新杉田公園とは現在も大会やイベント情報を共有しながら連携して運営している。料金面での対応は課題があるものの、今後の検討事項としたい。 (委員) 女性限定講習会の提案があるが、他の対象者向け講習会は実施しているのか。 (団体B) 現在、トレーニング室の利用初心者向け講習会を実施している。女性限定講習会の実施により、利用者の拡大につなげたい。また、パーソナルトレーニング事業も試行的に実施している。 (委員) 長年にわたり指定管理に携わってきた経験やノウハウを十分に生かしながら、施設運営に取り組んでほしい。 (委員) 磯子スポーツセンターにはプールがないが、貴団体が管理する他施設との相互利用制度を設ける考えはないか。 (団体B) プール施設も管理しているが距離が離れているため、相互利用制度については今後検討したい。 (委員) 券売機のタッチパネル化について提案があったが、導入時期はいつ頃を予定しているか。 (団体B) 第 5 期指定管理期間中なるべく早い時期に導入したいと考えている。 (委員) DX への取組について、どのようなことを考えているか。 (団体B) 教室の申込みから支払いまでのシステム刷新を検討している。また、トレーニング室への AI カメラ導入についても検討している。 (委員) トレーニングルームの機器入れ替えは考えているか。 (団体B) 老朽化や消耗が進んでいる機器については更新を行いたいと考えている。また、女性の利用拡大に向け、有酸素運動ができるランニン
--	--

グマシン等を増やすことを検討している。導入はリース契約を想定している。

(委員) e スポーツの導入費用はどうか。

(団体B) 費用はそれほどかからないと見込んでいる。

2 審査・選定

【各応募団体の財務状況について】

委員から各団体の財務分析結果について説明があった。

団体A (はばたく磯子スポーツ共創パートナーズ)

民間企業としての収益性や運営効率、施設管理に関する専門性を有しており、これらを生かした効率的かつ効果的な施設運営が期待できる。また、安定した経営基盤を有しており、指定管理者として適切な経営状況にあると評価された。

団体B (公益財団法人横浜市スポーツ協会)

安定した財務基盤に加え、横浜市内のスポーツ施設運営における豊富な実績と高い公共性を有しており、指定管理者として適切な経営状況にあると評価された。

【審査結果】

団体A (はばたく磯子スポーツ共創パートナーズ)

465 点 (「10 加減点項目」の項目を含む)

440 点 (「10 加減点項目」の項目を除く)

団体B (公益財団法人横浜市スポーツ協会)

517 点 (「10 加減点項目」の項目を含む)

471 点 (「10 加減点項目」の項目を除く)

※満点：615 点 (「10 加減点項目」の項目を含む)

最低基準点：309 点

(「10 加減点項目」を除く各委員の持ち点 103 点×5 人=515 点の6割)

【選定】

2 団体とも最低基準点を満たしており、「公益財団法人横浜市スポーツ協会」を指定候補者、「はばたく磯子スポーツ共創パートナーズ」を次点候補者として選定し、磯子区長へ報告することを決定した。

	【委員講評】 <u>団体A（はばたく磯子スポーツ共創パートナーズ）</u> ・全国規模で事業展開する企業を母体とし、豊富な運営実績を有している点が評価できる。器具の更新や受付システムの改善など、利用者サービスと利便性の向上につながる提案も評価できる。 ・新たな視点による意欲的な提案が見られ、組織としての活力が感じられる点は評価できる。一方で、他団体と比較した際の明確な優位性や特色を示すまでには至らなかった。 <u>団体B（公益財団法人横浜市スポーツ協会）</u> ・地域に根差した活動を展開している点が特色であり、豊富な実績や地域との連携体制について高く評価できる。 ・長年の経験に裏打ちされた安定した運営基盤に加え、公益性を重視した運営姿勢や幅広い利用者の視点に立った施設運営が期待できる。 ・新たな視点による取組の提案も見られ、地域との連携のさらなる発展や施設運営の一層の向上が期待できる。
資 料	1 委員会タイムスケジュール 2 応募団体からの提出書類（2団体） 3 現指定管理者運営実績評価資料